

町民自治推進委員会 ワークショップを開催しました

この委員会は、まちづくりへの町民参画と協働をより深めるために「安平町まちづくり基本条例」や「安平町町民参画推進条例」が制定された後も「きちんと運用されているか」「修正すべきところはないか」など、町民の皆さんの視点でチェックを行うために設置しています。

今回は、第2回目の委員会として、12月4日に早来学園まなびお図書室にて開催された「ワークショップ」についてご紹介します。

■ワークショップの内容と結果

まちづくり基本条例「町民自ら考え行動する町民自治の実現」に向け「批判せず、自由に」を基本ルールとしてワークショップを行った結果、下記のような意見などが出ました。



関心を持っている「まちの取り組み」

- ・「あびらチャンネル」
番組表が欲しい、見たいものが見られない、さらなる活用が必要。
- ・「あびら教育プラン」
どんなことを行っているのか、もっと情報を知りたい。
- ・「ワークショップのような意見交換の場」
意見交換の場が増えたことで、町に活気があり、若年層が意見を発言しているのが良い。
役場職員がその場に参加することで、地域の声を聞き取ることができる。

自治会、消防団、PTA、学校、こども園、役場の活動内容などについて

- ・自治会や町内会が高齢化し、担い手不足（若い人の不参加）を感じる、班長の仕事が多い。
- ・消防団の活動内容が知りたい。
- ・安平小学校、遠浅小学校が無くなったことへの不安。
- ・学校給食について興味がある。
- ・追分高校の活性化により、地域のつながりを強くする。
- ・追分地区と早来地区の教育環境の差を感じる。

「子どもの意見表明権」 「こどもにやさしいまちづくり」について

「こどもにやさしいまちづくり」の根底には「みんなにやさしいまちづくり」がある。
「どんな町に住みたいか」というアンケートを取り、問題を解決することで「みんなに優しいまちづくり」を進められるのではないかと。



その他意見として出た 「意見」や「要望」など

- ・幼児を遊ばせる場所が無いと、公園の整備などが必要。
- ・追分地区への賃貸住宅確保。
- ・鉄道など公共交通の維持、存続が心配。
- ・イベントが多くあるのは良いことだが、団体やイベントが増えたからこそ、主催者などが分からない。また、参加者の取り合いになっていないか。

次回以降の町民自治推進委員会では、上記の意見などを活用した議論を長期的に進めていきます。

問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751